



## Press Release

For immediate release – 2021年6月4日

# 自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD)が正式設立 ～自然関連のリスクを評価し、世界の資金の流れの変容を促す～

2021年6月4日、自然関連財務情報開示タスクフォース（Taskforce on Nature-related Financial Disclosures : TNFD）が正式に立ち上がりました。TNFDは、事業会社や金融機関が自身のビジネスの自然への依存度や自然に与える影響を評価、管理、報告するための枠組みを提供するとともに、自然関連のリスクを評価したうえで財務上の情報開示を求める世界的な取り組みです。TNFDは、自然に負の影響を与える資金の流れを転換させ、自然に良い影響をもたらす（ネイチャー・ポジティブ(nature-positive)）ことを目的としています。

TNFDの立ち上げの準備は2020年7月に始まりました。これまでに民間を含む74のメンバー（49の金融機関・事業会社、8の政府、17のコンソーシアム）で構成される非公式会合を通じて話し合いが進められ、TNFDのガバナンス、扱う対象、自然リスクの定義などが議論されています。WWFはグローバルキャンピ、UNDP（国連開発計画）、UNEP FI（国連環境計画・金融イニシアティブ）と共に、設立機関としてパートナーグループに加わり、計画策定に取り組んできました。

TNFDへ世界からの期待は非常に高く、多くの関心が寄せられています。

● 国連事務総長 アントニオ・グテーレス氏

"新しく立ち上がるTNFDは、金融機関がファイナンスを破壊的な活動から自然に基づく解決策へシフトさせるのに役立つだろう"

● 国連気候変動対策特使 マーク・カーニー氏

"TNFDと呼ばれるこの取り組みは、ダブルマテリアリティと呼ばれるレンズを通して自然を見るもので、例えば企業のサプライチェーンへの影響など、自然が組織にどのような影響を与えるかということと、例えば生態系への影響など、組織が自然にどのような影響を与えるかということの両方を扱うことを意味している"

● フランス大統領 エマニュエル マクロン氏

"気候関連財務情報開示に関するタスクフォース（TCFD）では、民間金融をシフトさせることができた。TNFDでも同様に民間金融のシフトを起こす必要がある"

更に先日開催されたG7環境大臣会合で示されたコミュニケーションにおいても、TNFDに対する期待が示されています。

正式立ち上げに合わせてTNFDの新しい共同議長2名、David Craig氏（CEO of Refinitiv and Group Leader of Data & Analytics Division at London Stock Exchange Group）と Elizabeth Maruma



Mrema氏 Executive Secretary of the UN Convention on Biological Diversity) が任命されています。今後この共同議長を中心として、各業界を代表する個人資質の専門家30名がタスクフォースのメンバーとして選出され、TNFDの活動は加速されていきます。タスクフォースメンバーは先進国／途上国やジェンダーバランスに配慮しながら、金融機関や事業会社の代表者で構成されることが提案されています。また情報開示に焦点を当てていることから、格付け機関、監査法人／会計事務所等、データプロバイダーなどがメンバーに含まれる可能性も示唆されています。これら選出されたメンバーを中心に議論が進められ、2021年中に自然リスクに関する財務情報開示の枠組みが示され、2022年の早い時期のパイロットテストを踏まえ、2023年に実際の運用開始となる予定です。

WWFも引き続きTNFD等を通じ、金融機関や事業会社における自然関連の情報開示を推進していきます。

#### ■参考

TNFDウェブサイト：<https://tnfd.info/>

TNFDローンチイベントサイト：<https://www.lsegissuerservices.com/spark/LSEG/events/3ffdad62-72ea-4ce3-8455-ea577fe7a9a6>

**WWF ジャパン プレスリリース一覧 <https://www.wwf.or.jp/press/>**